

# 1 アンケート調査

## (1) 調査の概要

この調査は、「第3次京丹後市障害者計画及び第5期京丹後市障害福祉計画」を策定するにあたり、障害のある人の実情やニーズ、さらには障害者施策への意見を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施しました。

調査期間	平成28年9月1日～平成28年9月23日		
調査対象	京丹後市在住の身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方 ○身体障害者手帳所持者：625人（65歳以下全員） ○療育手帳所持者：431人（全数） ○精神障害者保健福祉手帳所持者：265人（全数）  ※重複障害の人は1人1通を送付しています。		
	<b>配布数</b>	<b>有効回収数</b>	<b>有効回収率</b>
回収結果	1,321	555	42.0%

### ■ 調査結果の見方

- 回答結果は、小数第2位を四捨五入しており、比率の合計が100.0%にならないことがあります。
- 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対してそれぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 設問の表題や選択肢について、一部簡略化している場合があります。
- 全ての設問を掲載しておりません。
- 前回調査は平成26年度実施。

## (2) 障害状況について

### ■身体障害者手帳所持者の方へ 障害の原因は次のどれですか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	疾病	98	36.0%
2	先天性（生まれつき）	63	23.2%
3	その他	47	17.3%
4	交通事故	14	5.1%
5	労働災害	11	4.0%
6	その他の事故	10	3.7%
	不明・無回答	32	11.8%
	サンプル数（%ベース）	272	100.0%

- ① 身体障害者手帳所持者の障害の原因は、「疾病」「先天性」が前回と同様上位であるが、「交通事故」「労働災害」「その他の事故」3つを合わせて「事故」としてみると全体の12.8%（前回調査14.5%）となる。
- ② 「疾病」36%、「事故」12.8%の割合から約半数が中途障害となっている。

### ■あなたが受けている医療的ケアをお答えください

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	服薬管理	146	26.3%
2	その他	78	14.1%
3	透析	20	3.6%
4	吸入	9	1.6%
5	カテーテル	8	1.4%
6	吸引	7	1.3%
7	胃ろう・腸ろう	6	1.1%
8	ストマ（人工肛門・膀胱）	5	0.9%
9	気管切開	4	0.7%
10	人工呼吸器	4	0.7%
11	鼻腔経管栄養	0	0.0%
12	中心静脈栄養（IVH）	0	0.0%
	不明・無回答	307	55.3%
	サンプル数（%ベース）	555	100.0%

医療的ケアについては「服薬管理」を受けている方が前回同様第1位（26.3%）であり、前回（134件、20.7%）より増えている。

## (2) 生活支援について

### 「暮らし方と家族」

■現在、あなたと一緒に暮らしている人は、どなたですか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	428	77.1%
2	施設などで共同生活	60	10.8%
3	一人で暮らしている	49	8.8%
4	病院に入院	7	1.3%
5	その他	6	1.1%
6	友だち・仲間など	4	0.7%
	不明・無回答	11	2.0%
	サンプル数 (%ベース)	555	100.0%

■ふだん、あなたを介助しているのは、どなたですか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	243	43.8%
2	介助は受けていない	187	33.7%
3	ホームヘルパーや施設・病院の職員	120	21.6%
4	その他	15	2.7%
5	友だち・仲間など	12	2.2%
6	ボランティア	3	0.5%
	不明・無回答	42	7.6%
	サンプル数 (%ベース)	555	100.0%

■あなたは、どこで暮らしていますか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	持ち家（家族・親戚の持ち家も含む）	421	75.9%
2	入所施設	44	7.9%
3	民間アパート、借家（グループホームなど以外）、社宅	31	5.6%
4	公営住宅（グループホームなど以外）	17	3.1%
4	グループホーム	17	3.1%
6	その他	11	2.0%
	不明・無回答	14	2.5%
	サンプル数 (%ベース)	555	100.0%

■あなたは、今の暮らし方を続けたいですか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	今のままでいい	405	73.0%
2	変えたい	106	19.1%
	不明・無回答	44	7.9%
	サンプル数 (%ベース)	555	100.0%

■どのような暮らし方をしたいですか（変えたいと答えた人の中で）

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	結婚して配偶者（夫または妻）と暮らしたい	30	28.3%
2	ひとりで暮らしたい	24	22.6%
3	仲間と地域で共同生活がしたい（グループホームなど）	19	17.9%
4	家族と一緒に暮らしたい	13	12.3%
5	その他	11	10.4%
6	入居型の福祉施設（障害者施設、高齢者施設など）で暮らしたい	9	8.5%
	不明・無回答	0	0.0%
	サンプル数 (%ベース)	106	100.0%

- ① 住居と家族状況については、家族と同居している人が77.1%と一番高い。次に施設が7.9%となっている。
- ② 前回同様、「今のままでいい」という回答は全体の73%と高い。
- ③ 「今の暮らしを変えたい」と答えた人のうち、77.3%は家族と同居の人であった。（106人中82人）
- ④ 「グループホームで暮らしたい」と答えた人の73.6%は家族同居者である。「施設で暮らしたい」と答えた人全員、家族同居者であった。

「求める支援制度」 手帳別・児童（18歳以下） 小数第1位を四捨五入

■現在の生活で困っていることや不安に思っていることがありますか

種別	1位	2位	3位	4位
身体	自分の健康や体力に自信がない	十分な収入が得られない	特にない	家族の健康状態が不安
	107	98	59	54
272	39%	36%	22%	20%
療育	十分な収入が得られない	将来の住まい(施設)	家族の健康状態が不安	特にない
	67	65	52	44
203	33%	32%	26%	22%
精神	十分な収入が得られない	自分の健康や体力に自信がない	働くところがない	趣味や生きがいがない 同居の家族関係
	60	58	25	24
126	48%	46%	20%	19%
児童	将来の住まい(施設)	特にない	必要なサービスが受けられない	十分な収入が得られない
	11	9	8	5
43	26%	21%	19%	12%
全体	十分な収入が得られない	自分の健康や体力に自信がない	家族の健康状態が不安	将来の住まい(施設)

■毎日の生活を送る上で特に必要な支援制度・サービスはどれですか

種別	1位	2位	3位	4位
身体	経済的負担の軽減	相談支援体制の充実	生活の場の確保(GH)	施設における生活の充実
	122	63	36	32
272	45%	23%	13%	12%
療育	経済的負担の軽減	生活の場の確保(GH)	相談支援体制の充実	施設における生活の充実
	70	61	57	54
203	34%	30%	28%	27%
精神	経済的負担の軽減	相談支援体制の充実	生活の場の確保(GH)	施設における生活の充実
	57	41	25	23
126	45%	33%	20%	18%
児童	相談支援体制の充実	文化・スポーツ参加活動支援	経済的負担の軽減	移動支援・権利擁護制度の普及
	21	13	11	5
43	49%	30%	26%	12%
全体	経済的負担の軽減	相談支援体制の充実	生活の場の確保(GH)	施設における生活の充実

- ① 日常生活で困っていることについては、手帳別にみると「療育」「精神」については「十分な収入が得られない」が一番高く、特に「精神」については第3位に「働くところがない」第4位に「生きがいがない」「同居との家族の関係」など、身体や療育手帳所持者にはない特徴的な結果となっている。どの障害も経済的な困難さと自分と家族の健康面に対する不安、次いで将来の住居となっている。
- ② 特に必要な支援制度については、生活で困っていることの設定結果と同様どの障害も「経済的負担の軽減」が第1位となっている。児童に関しては「相談支援体制の充実」が第1位であった。
- ③ 必要な支援制度の次に高い内容は、グループホームなどの生活の場の確保と施設の充実が高くなっている。

## 「人権・権利について」

### ■あなたは、現在または過去、次の権利侵害を受けたことがありますか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ない	335	60.4%
2	ある	147	26.5%
	不明・無回答	73	13.2%
	サンプル数 (%ベース)	555	100.0%

### ■その時、あなたは、どのような対応をされましたか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	親や家族に相談した	62	42.2%
2	泣き寝入りした(救済等をあきらめた)	49	33.3%
3	学校の先生や施設の職員などに相談した	33	22.4%
4	相談先がわからなかった	19	12.9%
5	その他	18	12.2%
6	行政などの相談窓口で相談した	15	10.2%
7	弁護士などの専門家に相談した	3	2.0%
	不明・無回答	3	2.0%
	サンプル数 (%ベース)	147	100.0%

■ 成年後見制度の具体的な内容を知っていますか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	知らない	425	76.6%
2	知っている	96	17.3%
	不明・無回答	34	6.1%
	サンプル数 (%ベース)	555	100.0%

■ あなたは、成年後見制度を活用したいと思いますか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	わからない	305	55.0%
2	今は必要としていないが、将来は活用したい	86	15.5%
3	活用したいと思わない	75	13.5%
4	活用したいと思う	37	6.7%
	不明・無回答	52	9.4%
	サンプル数 (%ベース)	555	100.0%

- ① 権利侵害を受けたことがある人が26.5%であり、そのうち33.3%の人が「泣寝入りをした」と回答している。
- ② 相談先は「親や家族」が一番高く(42.2%)、次に「学校や施設職員」(22.4%)となっている。
- ③ 「相談先がわからなかった」が12.9%とあり、必要な支援についても「相談支援体制の充実」が全体で第2位を占めており、体制の啓発、周知の課題が出ている。
- ④ 成年後見制度を知らない人が76.6%もあり、制度の周知不足が課題となっている。

### (3) 生活環境について

#### 「外出の環境」

##### ■あなたは、1週間に何日外出しますか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	毎日	273	49.2%
2	1週間に数回	193	34.8%
3	めったに外出しない	72	13.0%
4	まったく外出しない	6	1.1%
	不明・無回答	11	2.0%
	サンプル数 (%ベース)	555	100.0%

##### ■外出の同伴者はどなたですか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	252	46.8%
2	家族	203	37.7%
3	ホームヘルパーや施設の職員	76	14.1%
4	ボランティア	7	1.3%
	不明・無回答	1	0.2%
	サンプル数 (%ベース)	538	100.0%

##### ■外出するときの目的は、何ですか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	買い物	386	71.7%
2	医療機関へ受診	298	55.4%
3	通勤・通学・通所	282	52.4%
4	友人・知人に会う	139	25.8%
5	散歩	124	23.0%
6	趣味・スポーツ	90	16.7%
7	グループ活動	36	6.7%
8	訓練・リハビリ	33	6.1%
9	その他	33	6.1%
	不明・無回答	7	1.3%
	サンプル数 (%ベース)	538	100.0%



■外出する時の主な交通手段は何ですか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族が運転する車	249	46.3%
2	自分が運転する車	181	33.6%
3	電車・バス（路線バス、送迎バスなど）	159	29.6%
4	徒歩	131	24.3%
5	自転車	101	18.8%
6	タクシー	74	13.8%
7	その他	37	6.9%
8	オートバイ	13	2.4%
	不明・無回答	14	2.6%
	サンプル数（%ベース）	538	100.0%

手帳別・児童（18歳以下） 小数第1位を四捨五入

■外出する時に困ることは何ですか

種別	1位	2位	3位	4位
身体	道路、駅、階段の段差	公共交通機関が少ない	お金がかかる	建物の設備が不便(トイレ等)
	74	65	57	49
272	27%	24%	21%	18%
療育	公共交通機関が少ない	お金がかかる	建物の設備が不便(トイレ等)	周囲の目が気になる
	58	36	26	26
203	29%	18%	13%	13%
精神	お金がかかる	周囲の目が気になる	公共交通機関が少ない	発作・身体変化が心配
	41	36	33	23
126	33%	29%	26%	18%
児童	公共交通機関が少ない	周囲の目が気になる	建物の設備が不便(トイレ等)	乗り降りが困難・切符の買い方
	10	9	7	6
43	23%	21%	16%	14%
全体	公共交通機関が少ない	お金がかかる	道路、駅、階段の段差	周囲の目が気になる

- ① 84%の人が毎日、あるいは週数回は外出している。37.7%の人が家族と同伴で外出され、46.8%の人は1人で移動できる人であった。反対に「めったに外出しない」「全く外出しない」人が合わせて14.1%ある。障害の理由によるものなのか、その背景を予測することは必要である。
- ② 「めったに外出しない」人（72人）のうち、外出の目的が一番多いのは「医療機関への受診」であり（40人 55.5%）、また家族との同伴者が一番多く（40人 55.5%）、次に施設職員が多かった。（27人 37.5%）

- ③ 外出の目的の第1位は「買い物」(71.7%)、第2位は「医療機関への受診」(55.4%)、第3位は「通勤・通学・通所」(52.4%)となっている。
- ④ 主な交通手段では、「家族が運転する車」が第1位(46.3%)であり、外出時の同伴者についても「家族」が第1位(37.7%)であった。
- ⑤ 外出時は1人の人が46.8%、また自分が運転する車で外出が33.6%となっている。
- ⑥ 主な交通手段について、自動車のほか、次いで電車やバスが29.6%、徒歩が24.3%となっている。
- ⑦ 外出する時に困ることの全体の第1位は「公共交通機関が少ない」(27.5%)であった。障害種別では身体は「道路、駅舎、階段等の段差が多い」、療育では「公共交通機関が少ない」、精神では「お金がかかる」が第1位となっている。
- ⑧ 「周囲の目が気になる」が全体で第4位であるが、精神と児童ではこの項目が第2位となっている。

## 「日中の過ごし方」

### ■平日の日中を主にどのように過ごしていますか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	福祉施設・作業所へ通所	138	24.9%
2	会社・自営(収入を得る仕事)	137	24.7%
3	自宅	123	22.2%
4	入所施設・病院	45	8.1%
5	専業主婦(主夫)	36	6.5%
6	特別支援学校	21	3.8%
7	高校、小、中学校	15	2.7%
8	その他	7	1.3%
9	幼稚園・保育所、障害児通園施設	6	1.1%
10	病院・デイケアへ	5	0.9%
11	リハビリ	5	0.9%
12	ボランティア(収入を得ない仕事)	3	0.5%
13	大学・専門学校など	1	0.2%
	不明・無回答	13	2.3%
	サンプル数(%) <sup>ベース</sup>	555	100.0%

- ① 平日の過ごし方の第1位は「福祉施設、作業所(就労継続支援A型事業所も含む)」、第2位は「会社・自営(収入を得る仕事)」、第3位は「自宅」となっている。
- ② 学校や保育所等(大学・専門学校含む)は43人、全体の7.7%であった。

#### (4) 保健・医療について

「求める医療体制」 手帳別・児童（18歳以下） 小数第1位を四捨五入

##### ■医療を受ける上で困っていることはありますか

種別	1位	2位	3位	4位
身体	特になし	交通費の負担が大きい	病院までの移動が困難	医療費の負担が大きい
	83	61	61	57
	31%	22%	22%	21%
療育	特になし	医療費の負担が大きい	病院までの移動が困難	交通費の負担が大きい
	62	40	34	31
	31%	20%	17%	15%
精神	病院までの移動が困難	特になし	医療費の負担が大きい	交通費の負担が大きい
	36	35	32	29
	29%	28%	25%	23%
児童	専門病院が近くにない	特になし	交通費の負担が大きい	病院までの移動が困難
	14	12	11	6
	33%	28%	26%	14%
全体	特になし	医療費の負担が大きい	病院までの移動が困難	交通費の負担が大きい

##### ■障害のある人の保健・医療に関しどのようなことが必要ですか

種別	1位	2位	3位	4位
身体	安心して地域で受けられる医療機関整備	在宅医療ケア体制	地域リハビリテーションの充実	早期発見・早期療育（治療）システム
	173	64	53	49
	64%	24%	19%	18%
療育	安心して地域で受けられる医療機関整備	早期発見・早期療育（治療）システム	在宅医療ケア体制	地域リハビリテーションの充実
	126	36	25	25
	62%	18%	12%	12%
精神	安心して地域で受けられる医療機関整備	早期発見・早期療育（治療）システム	在宅医療ケア体制	地域リハビリテーションの充実
	71	28	23	20
	56%	22%	18%	16%
児童	安心して地域で受けられる医療機関整備	早期発見・早期療育（治療）システム	乳幼児健診と育児相談	地域リハビリテーションの充実
	27	17	13	8
	63%	40%	30%	19%
全体	安心して地域で受けられる医療機関整備	早期発見・早期療育（治療）システム	在宅医療ケア体制	地域リハビリテーションの充実

- ① 全体も障害種別においても「医療に関して必要なこと」の第1位は「安心して地域で医療を受けられる医療機関の整備」であった。
- ② 医療での困っていることについて、特に児童に関しては「専門病院が近くにない」が第1位であった。

## (5) 災害支援について

「求める支援 体制」 手帳別・児童（18歳以下） 小数第1位を四捨五入

### ■災害発生時に支援してほしいこと何ですか

種別	1位	2位	3位	4位
身体	必要な治療と薬の確保	避難場所の設備整備	災害情報を知らせてほしい	避難場所までの避難を支援してほしい
	104	95	89	78
272	38%	35%	33%	29%
療育	避難時の声かけ	災害情報を知らせてほしい	避難場所までの避難を支援してほしい	必要な治療と薬の確保
	67	64	59	58
203	33%	32%	29%	29%
精神	必要な治療と薬の確保	災害情報を知らせてほしい	避難場所の設備整備	避難場所を教えてほしい
	81	50	27	26
126	64%	40%	21%	21%
児童	避難時の声かけ	避難場所までの避難を支援してほしい	災害情報を知らせてほしい	設備整備・補装具の確保
	20	17	14	9
43	47%	40%	33%	21%
全体	必要な治療と薬の確保	災害情報を知らせてほしい	避難場所の設備整備	避難場所までの避難を支援してほしい

- ① 全体の第1位は「必要な治療と薬の確保」であり、障害の状況の設問で「服薬管理」が必要な人が26.3%と医療的ケアの中で1番高い結果となっており、障害と医療が切り離せない状況がうかがえる。
- ② 障害種別でみると「療育」「児童」は「避難時に声かけてほしい」が第1位、「身体」「精神」は「必要な治療と薬の確保」が第1位となっている。
- ③ 次いで「災害情報を知らせてほしい」がどの種別も高く、全体で第2位となっている。

## (6) 情報・コミュニケーションについて

「求める支援 体制」 手帳別・児童（18歳以下） 小数第1位を四捨五入

■障害のある人の情報収集・コミュニケーションに関しどのようなことが必要と思いますか

種別	1位	2位	3位	4位
身体	相談支援体制の整備	個々の障害にあった情報提供	特にない	手話通訳等
	141	50	41	18
	272	52%	18%	15%
療育	相談支援体制の整備	特にない	個々の障害にあった情報提供	手話通訳等
	122	34	15	8
	203	60%	17%	7%
精神	相談支援体制の整備	特にない	個々の障害にあった情報提供	手話通訳等
	75	22	14	2
	126	60%	17%	11%
児童	相談支援体制の整備	特にない	個々の障害にあった情報提供	
	32	5	4	
	43	74%	12%	9%
全体	相談支援体制の整備	特にない	個々の障害にあった情報提供	手話通訳等

- ① どの障害種別も「障害のある人の立場に立った相談支援体制の整備」が第1位であった。
- ② 次に高いのは「特にない」であった。

## (7) 雇用・就業について

### 「就業の状況」

#### ■あなたはふだん仕事をしていますか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	福祉施設・作業所に通って働いている	126	25.6%
2	会社に勤め仕事をしている	104	21.1%
3	病気だから仕事はしていない	56	11.4%
4	障害が重くて仕事はしていない	38	7.7%
5	その他	29	5.9%
6	自営している	22	4.5%
7	家族でやっている仕事を手つだっている	22	4.5%
8	年をとっており仕事はしていない	20	4.1%
9	就職活動しているが採用されない	9	1.8%
10	機能訓練など自立のための「訓練」を行っている	4	0.8%
11	地域活動、ボランティア活動などに参加している	2	0.4%
12	学校に通っている	2	0.4%
	不明・無回答	58	11.8%
	サンプル数 (%ベース)	492	100.0%

#### ■現在仕事をされている方は、どんな勤務形態で仕事をされていますか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	会社のパート、アルバイト	58	11.8%
2	会社の正社員、従業員	51	10.4%
3	その他	43	8.7%
4	家族でやっている仕事を手つだっている	23	4.7%
5	自営	20	4.1%
6	正職員で障害者配慮がある	13	2.6%
7	内職（頼まれた仕事を家でやっている）	5	1.0%
	不明・無回答	279	56.7%
	サンプル数 (%ベース)	492	100.0%

■現在の仕事をどんな方法で見つけましたか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	その他	81	16.5%
2	公共職業安定所（ハローワーク）で見つけた	53	10.8%
3	親戚、知り合いに見つけてもらった	33	6.7%
4	学校で見つけてもらった	18	3.7%
5	新聞チラシなどから自分で見つけた	10	2.0%
6	職業訓練施設に見つけてもらった	4	0.8%
	不明・無回答	293	59.6%
	サンプル数（%ベース）	492	100.0%

■働く上でどのような条件が必要ですか 手帳別・児童（18歳以下）小数第1位を四捨五入

種別	1位	2位	3位	4位
身体	障害に合った仕事であること	障害に合った勤務条件であること	周囲の理解であること	賃金が妥当であること
	111	93	87	61
	41%	34%	32%	22%
療育	障害に合った仕事であること	周囲の理解であること	障害に合った勤務条件であること	賃金が妥当であること
	81	49	46	34
	40%	24%	23%	17%
精神	障害に合った勤務条件であること	周囲の理解であること	障害に合った仕事であること	賃金が妥当であること
	57	49	46	42
	45%	39%	37%	33%
全体	障害に合った仕事であること	障害に合った勤務条件であること	周囲の理解であること	賃金が妥当であること

- ① ふだんの就業については「福祉施設や作業所に通っている人」が第1位（25.6%）、第2位は「会社に勤め仕事をしている」（21.1%）、第3位は「病気だから仕事はしていない」（11.4%）となった。
- ② 勤務形態については、第1位が「会社のパート、アルバイト」（11.8%）であった。
- ③ 働く上での条件では「障害に合った仕事であること」が全体で第1位であった。精神については「障害にあった勤務条件であること（勤務時間、通院保障）」が第1位となっている。

## (8) 教育・育成について

### 「教育、進路の状況」

#### ■あなたが通園・通学している学校・園は、次のどれですか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	特別支援学校	25	58.1%
2	小・中学校（特別支援学級）	10	23.3%
3	保育園・幼稚園	5	11.6%
4	小・中学校、高等学校（普通学級）	3	7.0%
5	専門学校	0	0.0%
6	その他	0	0.0%
	不明・無回答	0	0.0%
	サンプル数（%ベース）	43	100.0%

#### ■障害のある児童・生徒の就学環境として望ましいと思うものはどれですか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	特別支援学校において、専門的な教育やサポートが得られる環境	19	44.2%
2	普通学校の特別支援学級において、できるだけ専門的な教育やサポートが得られる環境	12	27.9%
3	普通学校において、できるだけ他の児童・生徒と同様の教育やサポートが得られる環境	8	18.6%
4	その他	4	9.3%
	不明・無回答	0	0.0%
	サンプル数（%ベース）	43	100.0%



■学校・園生活を送る上での問題点はどれですか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	通園・通学が大変	18	41.9%
2	学習サポート体制が不十分	9	20.9%
3	特にない	8	18.6%
4	学習・学校生活に必要な設備が不十分	5	11.6%
5	福祉教育が不十分	4	9.3%
5	児童・生徒（またはその保護者）の理解が得られない	4	9.3%
5	家族の同伴を求められる	4	9.3%
8	進路指導が不十分	3	7.0%
9	校内・園内での介助が不十分	2	4.7%
10	友達ができない	1	2.3%
10	職員の理解が得られない	1	2.3%
10	その他	1	2.3%
	不明・無回答	4	9.3%
	サンプル数（%ベース）	43	100.0%

■学校（中学校（部）、高校（高等部））卒業後の進路について、どのような考えですか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	企業などへ就職させたい	14	32.6%
2	共同作業所など訓練や作業指導を受けられるような施設に通わせたい（通所施設など）	13	30.2%
3	上級学校に進学させたい	5	11.6%
4	その他	3	7.0%
5	入所して、訓練を受けさせたい（入所施設）	2	4.7%
6	職業訓練施設で訓練を受けさせたい	1	2.3%
	不明・無回答	5	11.6%
	サンプル数（%ベース）	43	100.0%

■あなたは、学校教育終了後の進路について、どのような施策を望みますか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	一般企業（会社など）の障害者雇用の拡大	17	39.5%
2	障害の特性に応じた作業所などの充実	14	32.6%
3	入所施設の充実	12	27.9%
4	障害者就業・生活支援センターの充実	9	20.9%
5	官公庁（市役所など）の障害者雇用の拡大	8	18.6%
6	わからない	6	14.0%
7	レクリエーション・学習活動を行う施設の充実	4	9.3%
8	職業訓練機関の整備	3	7.0%
9	その他	0	0.0%
	不明・無回答	0	0.0%
	サンプル数（%ベース）	43	100.0%

■あなたは、障害のある児童・生徒の教育・育成に関し、どれが必要であると思いますか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	児童・生徒の個々のニーズに応じた学習指導の充実	22	51.2%
2	障害のある児童・生徒の保護者に対する精神的な支援	17	39.5%
3	教育・保健・医療・福祉などの関係機関の連携	15	34.9%
4	障害への理解を深めるため、すべての児童・生徒に対する人権教育の推進	12	27.9%
5	早期発見・早期療育システムの確立	8	18.6%
6	スロープなど、児童・生徒の障害に対応した施設整備	3	7.0%
7	その他	1	2.3%
7	特になし	1	2.3%
	不明・無回答	0	0.0%
	サンプル数（%ベース）	43	100.0%

障害特性にあった専門的な教育サポートのニーズが高く、卒業後においては一般企業での就職希望が第1位となっている。また同様に障害特性にあった作業所の充実も高く、自宅近くの作業所ではなく、本人に合った作業所を選択したいという希望が高い。前回と比べ、入所施設の充実が2倍以上あり、27.9%で第3位となっている。

## (9) 介助者について

### 「介助者の状況」

#### ■介助者の方の年齢（平成28年4月1日現在）

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	60～69	47	19.3%
2	50～59	40	16.5%
3	40～49	31	12.8%
4	70～79	29	11.9%
5	80～89	7	2.9%
6	30～39	5	2.1%
7	20～29	0	0.0%
8	90以上	0	0.0%
	不明・無回答	84	34.6%
	サンプル数（%へ-ス）	243	100.0%

#### ■介助を始めてどれくらいですか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	10～19年	42	17.3%
2	5～9年	25	10.3%
3	0～4年	24	9.9%
3	20～29年	24	9.9%
5	30～39年	22	9.1%
6	40年以上	10	4.1%
	不明・無回答	96	39.5%
	サンプル数（%へ-ス）	243	100.0%

■介助についてどのように感じていますか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	心身が疲れる	79	32.5%
2	仕事・家事が十分にできない	46	18.9%
3	経済的負担が大きい	42	17.3%
4	自分の時間が持てない	37	15.2%
5	生きがい・充実を感じている	21	8.6%
5	仲間・友人ができた	21	8.6%
7	その他	15	6.2%
8	わからない	8	3.3%
	不明・無回答	105	43.2%
	サンプル数 (%ベース)	243	100.0%

■介助に関し、主に相談している人は、どなたですか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族・親戚	117	48.1%
2	医療機関（病院、診療所など）	58	23.9%
3	職場・学校・通所先（施設など）	56	23.0%
4	友人・知人	45	18.5%
5	市役所の窓口（障害者福祉課など）	34	14.0%
6	障害者相談員	27	11.1%
7	市役所以外の相談機関（相談支援事業所など）	20	8.2%
8	障害者団体・支援団体	18	7.4%
9	ケアマネジャー	13	5.3%
10	ホームヘルパー	9	3.7%
11	専門機関（保健所など）	8	3.3%
12	相談相手がない	8	3.3%
13	相談ごとはない	6	2.5%
14	民生・児童委員	3	1.2%
15	ボランティア	1	0.4%
16	その他	1	0.4%
	不明・無回答	105	43.2%
	サンプル数 (%ベース)	243	100.0%

介助について相談している人は家族が第1位、次いで医療機関、通所先となっており介助そのものの専門機関への相談は低い状況である。介助については「心身が疲れる」が32.5%で第1位である。ついで、「時間的な余裕がない（仕事・家事・自分）」と「経済的負担が大きい」となっている。

## (10) 障害福祉施策について

### ■障害者福祉を進めるためどのようなことが必要と思いますか

順位	カテゴリ	件数	(全体)%
1	公的年金、手当の増額など、所得保障を充実	265	47.7%
2	社会が、障害者に理解と関心をもってほしい	259	46.7%
3	障害者の雇用促進	198	35.7%
4	道路、公園などの公共施設、建物、乗り物が障害者の利用しやすいように整備してほしい	135	24.3%
5	グループホーム、入所施設をもっと増やしてほしい	128	23.1%
6	障害の状況に応じて必要な情報が得られるようにしてほしい。特に災害時等の情報入手や発信体制を整備してほしい	112	20.2%
7	医療体制を充実してほしい	111	20.0%
8	障害の程度に応じた職業訓練が受けられるようにしてほしい	101	18.2%
9	障害者が安心して入居できる公営住宅を整備してほしい	92	16.6%
10	市立病院に精神科病床を整備してほしい	62	11.2%
11	生活支援センターなど相談窓口を充実してほしい	59	10.6%
12	日常生活の中で、介助体制の充実を図ってほしい	52	9.4%
13	医師、専門職員などによる訪問指導体制を強化してほしい	48	8.6%
14	スポーツ、サークル、文化活動に参加しやすいよう移動手段(マイクロバス等)の支援をしてほしい	47	8.5%
15	専門的な機能回復訓練が受けられる施設を建設してほしい	38	6.8%
16	医療的ケアが必要な障害児の短期入所施設を整備してほしい	37	6.7%
17	結婚相談事業を進めてほしい	26	4.7%
18	市立病院の人工透析病床を充実してほしい	24	4.3%
19	補装具、日常生活用具の内容周知と取扱い研修の充実をはかってほしい	23	4.1%
20	その他	16	2.9%
	不明・無回答	64	11.5%
	サンプル数 (% <sup>^</sup> -s)	555	100.0%

- ① 全設問共通し、経済的負担の軽減のニーズが高いことから「年金や手当等の所得保障の充実」が第1位となっている。
- ② 「障害者に理解と関心をもってほしい」が第2位であり、雇用や教育に関連して同様に高い結果となった。